



コープの洗剤を利用して ホルネオのみどりをまもろう ～持続可能なパーム油の生産を支援する～

2019年
5月20日
まで

コープの洗剤に使用されているパーム油は、アブラヤシから作られています。このアブラヤシの農園開発は熱帯雨林喪失の原因のひとつです。生協ではその売上げの一部を使って環境保護団体とともにその問題の解決に取り組んでいます。

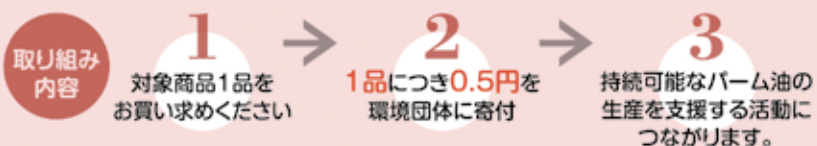


コープの洗剤環境寄付キャンペーンとは

2010年よりスタートした取り組みです。今までよどがわ生協は地域の環境団体へ寄付を行ってききましたが、2018年度からは全国の生協でWWF※ジャパンがインドネシア領ボルネオ島で進めるプロジェクトに賛同することになりました。具体的には、西カリマンタン州の保護価値の高い森林に近いエリアの小規模パーム農園の持続可能な生産を支援します。

※WWFとは

WWFは、100カ国以上で活動している地球環境保全団体です。1961年にスイスで設立されました。人と自然が調和して生きられる未来を築くことを目指して、地球上の生物多様性を守ることと、人の暮らしが自然環境や野生生物に与えている負荷を小さくすることを柱に活動を展開しています。



小規模パーム農園の持続可能な生産を支援とは

コープの洗剤にも使われるパーム油。その原料であるアブラヤシを生産する農園開発が、ボルネオの森林喪失の大きな原因になっています。特に小規模の農園では、労働条件も悪く生産性が低いため農地を少しでも広げようと、周りの貴重な森林が伐採されています。そういった農園に適切な農薬・肥料の使い方や、労働安全や農園管理の方法などを教え、生産性を高める支援を行うことで、保護価値の高い森林破壊の防止を目指しています。



©WWFジャパン



©WWFジャパン

主な支援内容

- 農園の地図化や書類作成などの管理指導
- 保護価値の高い森林の特定方法指導
- 労働安全や適切な農薬・肥料の利用指導

農業グループの会合にて(スマトラ)



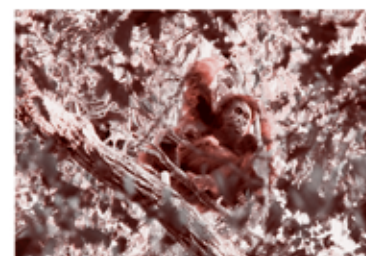
スマトラ島リアウ州農園 ©WWFジャパン



西カリマンタン

西カリマンタンってこんなところ

ボルネオ島西部のインドネシア領で人口450万人程度、経済発展が遅れている地域とされています。ここ10年程度でパーム農園の拡大や、沿岸部の開発などにより、その自然は急速に失われつつあります。オラウータンやテングザルといった絶滅の危機にある野生生物の生息地にもなっています。



©Victor Fidelis Sentosa



CO-OP
セフター
ENERGY
(エナジー)
抗菌・防臭



キャンペーン
対象商品の一例



CO-OP
セフター
ENERGY
(エナジー)
強力洗浄

2017年度の 地域の環境団体への寄付キャンペーン報告

よどがわ生協は…

総額 **4万3,456円**

よどがわ生協は、環境団体の「ECOまちネットワーク・よどがわ」を指定し、自然環境の保護や保全活動に役立てるために寄付しました。



商品活動委員会「エプロン」主催



NO.1379

参加費無料

コープクリーンさんによる洗剤学習会

あなたにぴったりの洗剤を見つけよう!

日時 6月28日(木) 10時~12時

申し込み

→3面のお便り欄下の参加申し込み欄

場所 茨木クリエイティブセンター 2階 生活実習室

PC

→下記参照・よどがわ生協ホームページ内機関紙よどがわイベント申し込み

※JR茨木駅・阪急茨木市駅より徒歩12分

☎

→組織部までお電話ください

募集人数 15人 ※お子さん同伴参加不可 持ち物 筆記用具 締め切り 6月15日(金)

お申込み・お問い合わせは ▶ 組織部 ☎06-6319-5619 (月~金 9~17時)



<https://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の
生協さん
第1支所



委託配達:トランコムDS
吹田地域担当
川上 真人 (かわかみ まさと)

「明るく」「元氣よく」「笑顔」をモットーにしています。商品や些細なことでも伺います!よろしくをお願いします。



エコアクション21
認証・登録番号0006727

よどがわ市民生活協同組合は環境マネジメントシステムに基づいたとくみを行なっています。